



第42期 中間報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日

palro®



富士ソフト 株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長

坂下 智保

株主の皆様には、平素格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

平成23年10月1日付で、代表取締役社長に就任いたしました坂下智保でございます。

第42期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低迷した企業の生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、海外経済の停滞による円高の進行や輸出の伸び悩みの影響もあり、先行き厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましては、企業のIT投資に対する一部需要での改善傾向が見られますが、全体では依然として慎重な姿勢で推移してまいりました。

このような情勢下、当社グループは当期より5ヵ年計画をスタートさせ、「骨太の戦略～五つの柱～」(受託ビジネス基盤の強化・プライム化の推進・プロダクト化の推進・グローバル化の推進・グループ力の強化)をベースにグループ体での事業を強力に推進してまいりました。

【当中間期の取り組みと業績について】

プロジェクト管理強化の徹底

昨年度より引き続きプロジェクト管理強化の徹底のため、共通フレームワークの適用による開発作業の標準化・合理化を図り、収益の向上に努めてまいりました。さらに、グループ一体運営に向けては、クロスセルやアライアンスの強化を進め、グループとしての結束力を強化してまいりました。

「FSGreen Chemical Report」の販売を開始

昨今各国で化学物質規制についての法整備が進んでいるなか、サプライチェーン全体に対する化学物質情報調査の負荷軽減が実現可能なサービスをSaaS型で提供し、業務効率化と精度向上を実現可能とし、かつ法令に対応するためのシステム「FSGreen Chemical Report」の販売を平成23年9月より開始してまいりました。

クラウドビジネス

昨年度に構築いたしましたプライベートクラウド基盤を活用し、流通業界のお客様にSaaS型で提供する、富士ソフトグループ「流通クラウド」の展開を引き続き図ってまいりました。

クラウドコンピューティングの一つとして筑波大学と共同で進めている「ディペンダブルな自律連合型クラウドコンピューティング基盤の研究開発」におきましては、クラウドコンピューティング基盤ソフトウェア「Kumoi (くもい)」に関するドキュメントを作成し公開いたしました。

デジタルサイネージソリューションの提供

東日本大震災の被災自治体に対し、補助金申請などをはじめとした政府・自治体からのお知らせ、周辺地域のボランティア・イベント情報など、行政と住民の皆様との情報受発信にご利用いただける情報掲示板として、デジタルサイネージソリューションの提供を開始いたしました。

当中間期の業績について

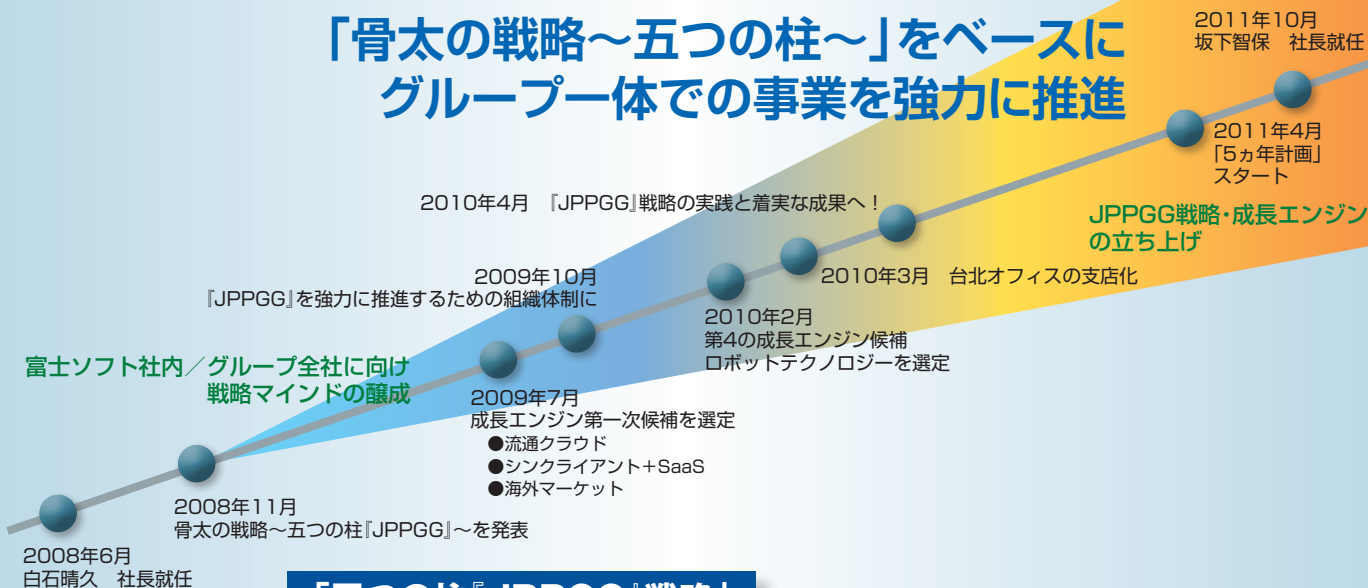
当第2四半期連結累計期間の売上高は657億88百万円（前年同期比1.6%減）となりました。しかしながら、継続的な経費の削減等により販売費及び一般管理費は131億59百万円（前年同期比5.2%減）と減少したことにより、営業利益は21億2百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

また、持分法投資損失の計上等により、経常利益は15億50百万円（前年同期比1.6%減）となり、特別損失に事業所閉鎖損失、投資有価証券評価損の計上や法人税等の増加の影響もあり、四半期純利益は2億64百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

JPPGG戦略の歩み

「骨太の戦略～五つの柱～」をベースに グループ一体での事業を強力に推進



「五つの柱『JPPGG』戦略」



受託ビジネス基盤の強化

当社の「コアビジネス」である「受託ビジネス」を、より収益性が高く強固なものにしています。



プライム化の推進

「受託ビジネス」の中でも下請けではなく、ユーザーのITソリューションに総合的に対応する「プライム受注案件」を伸ばします。(労務提供型→受託開発型→技術提供型→研究開発型への経営転換)



プロダクト化の推進

ひとつの企業だけに適用するシステム(1:1)ではなく、多くのお客様に通じるパッケージ群・サービス群(1:N)の開発・提供を推進することで、当社技術の有効活用・取引顧客の拡大を狙います。



グローバル化の推進

当社グループの更なる発展とグローバル化への対応のため、市場を世界に拡げていきます。



グループカの強化

自立・再編・共有・団結をより一層推し進めていき、グループシナジーの創出を目指します。

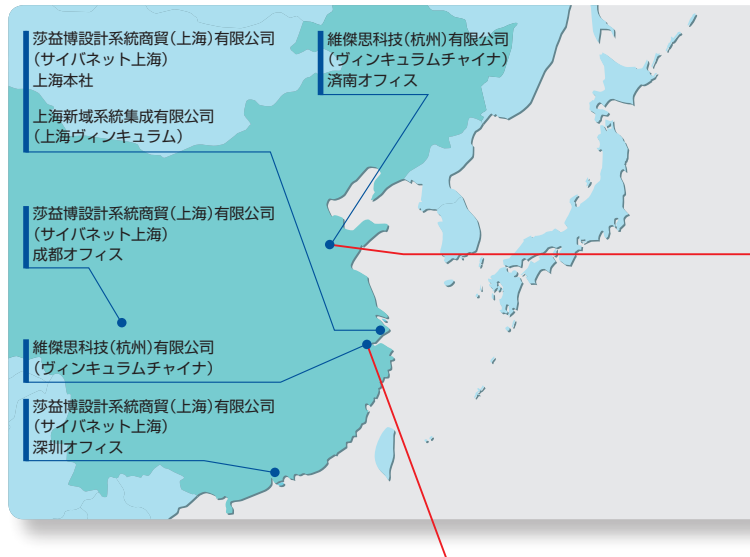
Focus (事業探訪)

グローバル戦略 SIerとしての中国進出

中国において、当社グループのサイバネットシステム株式会社が、従前より現地企業向けCAE(Computer Aided Engineering)のパッケージ販売及び関連ソリューションでビジネスを拡大してまいりました。

また、当社としては、グループ会社の維傑思科技(杭州)有限公司(ヴィンキュラムチャイナ)と連携し、昨年度より中国浙江省杭州市に、今年度より山東省済南市に開発拠点を設置し、中国でのシステム開発を拡大させております。それらの開発拠点では日本から社員を赴任させ、現地の開発要員を教育し、日本側の開発ノウハウと中国側のコストパフォーマンスを組み合わせることで、お客様にご満足頂ける高いコストパフォーマンスと高品質なサービスを提供しております。

加えて、グループ内に中国国内のICP(Internet Content Provider)、ISP(Internet Services Provider)及びIP-VPNライセンスを持つ上海新城系统集成有限公司(上海ヴィンキュラム)を設立し、中国市場における回線の取得、ネットワーク構築及び運用サービス、さらにEコマースソリューションの提供など新たなビジネスの拡大に乗り出しています。



済南市開発拠点



杭州市開発拠点

東日本大震災復興支援の取り組みについて

この度の東日本大震災により被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

当社では、本年3月に復興支援プロジェクトチームを立ち上げ、復旧・復興に向けた支援

被災自治体と住民をつなぐ情報掲示板 としてデジタルサイネージを提供

東日本大震災の被災自治体に対し、補助金申請などをはじめとした政府・自治体からのお知らせ、周辺地域のボランティア・イベント情報など、行政と住民の皆様との情報受発信にご利用いただける情報掲示板として、デジタルサイネージソリューションの提供を開始いたしました。



9月11日には、宮城県本吉郡南三陸町の仮庁舎(ベイサイドアリーナ)で開催された東日本大震災の犠牲者を慰霊する合同慰霊祭の様を、デジタルサイネージとインターネット回線を使用して、会場と大規模避難所の計7ヶ所にライブ配信いたしました。

「福島・會津企業

東日本大震災の被災地支援の一環として、福島県会津若松市の特産物や農産物を販売する「福島・會津企業マルシェ」を当社秋葉原オフィス(6月30日)及び当社本社オフィス(7月12日)において開催いたしました。

当社グループ企業である富士ソフトサービスビューロ株式会社の拠点のひとつであり、日頃よりお世話になってい



活動に取り組んでおります。

「マルシェ」開催

会津若松市から要請を受け、原発事故に伴い風評被害を受けている農業や食品関連事業に携わる方々を支援することを目的とし、開催いたしました。



東日本大震災の被災地での社員のボランティア活動を支援



被災地の支援を目的に、これまで義援金の寄付やITを活用した復興支援の取り組みを行ってまいりましたが、被災地の自治体に支援内容のニーズをヒアリングしたところ、行政事務への人的支援の要望が強いことがわかりました。また、当社社内からもボランティア活動で復興のお役に立ちたいという意見が聞かれたため、当社ではITを活用した復興支援に加え、行政事務を支援するボランティア活動に参加する社員を支援してまいりました。

被災地の支援を目的に、これまで義援金の寄付やITを活用した復興支援の取り組みを行ってまいりましたが、被災地の自治体に支援内容のニーズをヒアリングしたところ、行政事務への人的支援の要望が強いことがわかりました。また、当社社内からもボランティア活動で復興のお役に立ちたいとい



連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計 期間末(第42期) 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 (第41期) 平成23年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	51,006	57,534
現金及び預金	17,709	22,045
受取手形及び売掛金	25,752	28,385
有価証券	154	163
商品	232	268
仕掛品	2,082	1,453
原材料及び貯蔵品	29	31
その他	5,084	5,217
貸倒引当金	△ 38	△ 31
固定資産	108,550	111,881
有形固定資産	75,295	76,343
建物及び構築物	56,910	56,699
減価償却累計額	△ 18,743	△ 17,909
建物及び構築物（純額）	38,166	38,789
土地	30,415	30,415
建設仮勘定	195	105
その他	16,773	16,569
減価償却累計額	△ 10,255	△ 9,536
その他（純額）	6,517	7,032
無形固定資産	10,929	11,700
のれん	3,692	4,206
ソフトウェア	6,856	7,096
その他	379	397
投資その他の資産	22,325	23,837
投資有価証券	13,749	15,016
その他	8,637	8,892
貸倒引当金	△ 61	△ 71
資産合計	159,556	169,416

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計 期間末(第42期) 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 (第41期) 平成23年3月31日現在
●負債の部		
流動負債	49,739	55,099
買掛金	7,992	7,565
短期借入金	20,899	25,553
1年内償還予定の社債	10	44
1年内返済予定の長期借入金	8,379	8,362
未払費用	6,536	6,087
未払法人税等	735	782
役員賞与引当金	54	127
工事損失引当金	160	397
その他	4,971	6,180
固定負債	25,575	30,038
社債	10	15
長期借入金	17,487	21,641
退職給付引当金	5,103	5,112
役員退職慰労引当金	360	410
その他	2,614	2,858
負債合計	75,314	85,137
●純資産の部		
株主資本	82,937	82,991
資本金	26,200	26,200
資本剰余金	28,438	28,438
利益剰余金	36,399	36,453
自己株式	△ 8,101	△ 8,101
その他の包括利益累計額	△ 9,253	△ 9,237
その他有価証券評価差額金	△ 103	△ 69
繰延ヘッジ損益	△ 21	5
土地再評価差額金	△ 9,051	△ 9,051
為替換算調整勘定	△ 77	△ 122
新株予約権	92	109
少数株主持分	10,466	10,415
純資産合計	84,241	84,278
負債純資産合計	159,556	169,416

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間(第42期)	前第2四半期連結累計期間(第41期)
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	65,788	66,824
売上原価	50,526	51,412
売上総利益	15,262	15,412
販売費及び一般管理費	13,159	13,886
営業利益	2,102	1,526
営業外収益	288	1,391
営業外費用	840	1,341
経常利益	1,550	1,575
特別利益	41	196
特別損失	232	82
税金等調整前四半期純利益	1,359	1,689
法人税、住民税及び事業税	536	80
法人税等調整額	320	57
法人税等合計	856	138
少数株主損益調整前四半期純利益	502	1,550
少数株主利益	237	259
四半期純利益	264	1,291

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

HPのご案内

当社のHPでは、IR情報やプレスリリース等の最新情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.fsi.co.jp/>

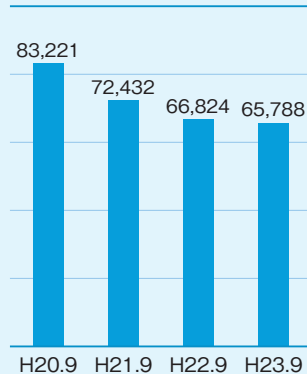


有価証券報告書、四半期報告書については、当社HPの他、金融庁の運営するEDINETでもご確認いただけます。

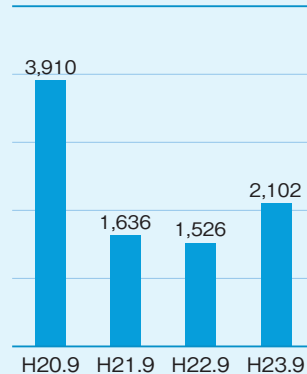
<http://info.edinet-fsa.go.jp/>

■財務ハイライト(連結) Financial Highlights

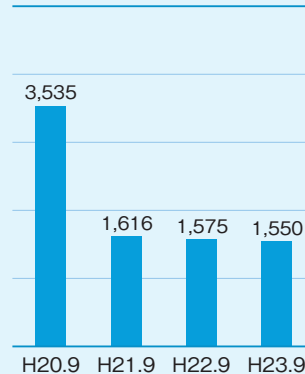
●売上高(単位:百万円)



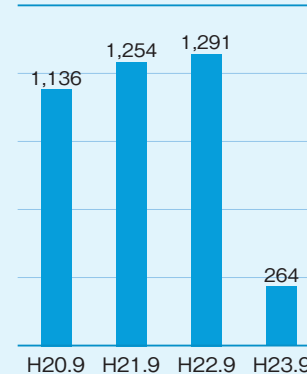
●営業利益(単位:百万円)



●経常利益(単位:百万円)



●四半期純利益(単位:百万円)



1. インプラント型再生軟骨事業

当社は、2005年に東京大学医学部附属病院で「軟骨・骨再生医療寄付講座」を開設して以来、2007年に軟骨と同程度の硬さを持つ再生軟骨（インプラント型再生軟骨）の作成に成功しました。「再生軟骨」とは、患者自身の細胞を使って人工的に作る軟骨で、病気やけがなどで顔面（鼻や耳）の軟骨を欠損した患者の治療に使用することができます。

2008年には、インプラント型再生軟骨を製造する拠点として、「富士ソフト細胞プロセッシングセンター」を当社錦糸町ビルに開設し、以降インプラント型再生軟骨の実用化及び製品化の研究を推進しています。

本年9月には、東京大学医学部附属病院で再生軟骨を口唇口蓋裂の患者さんの鼻に用いる、世界初の臨床研究がスタートしました。

当社は、今後ともインプラント型再生軟骨の早期実用化及び製品化を目指し、技術を用いた社会貢献活動を続けていきます。



2. 富士ソフト企画株式会社で2回目の厚生労働大臣賞を受賞

当社の特例子会社である「富士ソフト企画株式会社」は、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が主催する「平成23年度障害者雇用職場改善好事例」の募集審査にて厚生労働大臣賞を受賞いたしました。今回の受賞は、平成21年度に続き2回目となります。表彰式には富士ソフト企画株式会社の長嶋社長が出席し、小宮山厚生労働大臣より表彰状と記念品の盾が贈られました。



株式の状況 (平成23年9月30日現在) Stock Information

会社概要 Corporate Data

●株式の状況

- 発行可能株式総数 …………… 130,100,000株
- 発行済株式の総数 …………… 35,746,329株
- 株主数 …………… 12,285名
- 単元株式数 …………… 100株

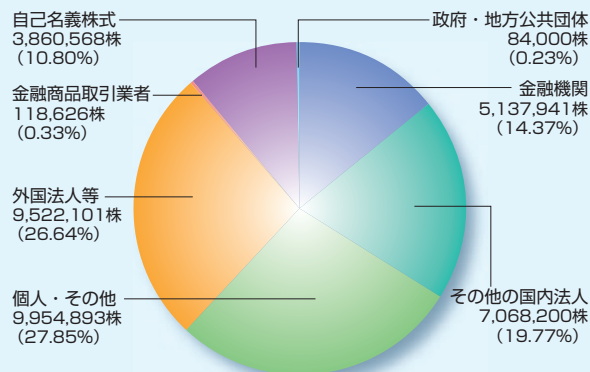
●大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	4,299	13.48
有限会社エヌエフシー	3,228	10.12
野澤 宏	2,572	8.07
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユー エスタブリスエグゼンプテッドベンションファンズ	1,701	5.33
東京センチュリーリース株式会社	1,138	3.57
新井 隆二	1,022	3.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	858	2.69
富士ソフト社員持株会	629	1.98
野澤 則子	629	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	561	1.76

(注) 1. 当社は自己株式を3,860,568株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



●概 要 (平成23年9月30日現在)

名 称 富士ソフト株式会社
 英 語 名 称 FUJI SOFT INCORPORATED
 本社所在地 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地
 TEL : 045-650-8811 (大代表)
 設 立 1970年(昭和45年)5月15日
 資 本 金 262億28万円
 従 業 員 5,922名

●役 員 (平成23年10月1日現在)

代表取締役社長 坂下 智保 ※1
 専務取締役 吉田 實 ※1
 専務取締役 生嶋 滋実 ※1
 常務取締役 今城 浩一 ※1
 取 締 役 相磯 秀夫 ※2
 取 締 役 二見 常夫 ※2
 常勤監査役 石村英二郎 ※3
 監 査 役 澁谷 純治 ※3
 監 査 役 元石 一雄 ※3
 監 査 役 石井 茂雄 ※3

会長執行役員(創業者) 野澤 宏
 常務執行役員 河野 文豊
 常務執行役員 山口 昌孝
 執行役員 三本 幸司
 執行役員 常川 健二
 執行役員 竹林 義修
 執行役員 柳 英雄
 執行役員 梶野 洋
 執行役員 渋谷 正樹
 執行役員 木村 宏之
 執行役員 豊田 浩一
 執行役員 千代田 等
 執行役員 佐藤 諭
 執行役員 野澤仁太郎
 執行役員 須藤 勝
 執行役員 田原 大
 執行役員 布目 暢之

※1は執行役員兼務

※2は社外取締役

※3は社外監査役

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
期末配当基準日	3月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
中間配当基準日	9月30日		TEL：0120-232-711（通話料無料）
定時株主総会	毎年6月に開催		インターネットホームページURL
単元株式数	100株		http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	公告掲載URL	http://www.fsi.co.jp/ir/notify/
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■全日本ロボット相撲大会[®]

当社は、全日本ロボット相撲大会を毎年開催しています。「全日本ロボット相撲大会」は、「ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供する」ことを目的に1990年より開催し、今回で23回目を迎える国内最大規模のロボット競技大会です。

今年は、8月28日（日）に山形県山形市で開催された東北大会を皮切りに、全国9ヶ所で地区大会を開催し、全国大会進出をかけて1,300台の「ロボット力士」が全国各地で技術とアイデアを競う熱戦を繰り広げてきました。12月18日（日）に、両国国技館において「第23回全日本ロボット相撲全国大会」を開催いたします。株主の皆様におかれましてはぜひ会場へご来場の上、直径1.54mの土俵の上で繰り広げられる、スピーディーでパワフルな戦いをご覧ください。

「第23回全日本ロボット相撲全国大会」

日時：平成23年12月18日（日） 11:00～16:00

場所：東京・両国 国技館（東京都墨田区横綱1-3-28）

ご来場に際しては、本「第42期中間報告書」をご持参の上、会場受付にてご提示ください。



富士ソフト株式会社 www.fsi.co.jp

本社 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地 TEL：045-650-8811（大代表）



この印刷物はベジタブル
インクで作成されています。